

平成 20 年度予算編成方針のポイント

I 平成 20 年度収支不足額（見込） 848 億円

（19 年度当初予算：500 億円）

歳入面においては平成 19 年度と概ね同程度と見込んでいるものの、歳出面においては福祉・医療関係経費や、退職手当、公債費が増加することなどにより、収支不足額が拡大する見込みである。

今回の試算は、歳入については一定の前提に基づくものであり、歳出については現時点での部局の要望を基に試算したものであるため、これがそのまま最終的な予算の姿となるものではない。

歳入の徹底した見直しを行うほか、歳出についても各部局がさらに絞り込んで要求し、その上で 11 月からの予算編成過程における徹底した議論を通じて、事業の必要性や効果を精査し、収支不足額を圧縮していく。

II 今後の予算編成における取組

- ① ゆとりとチャンス埼玉プランや県政運営の 3 つの指針を踏まえ、緊急的かつ重点的に対応すべき県政の課題に、限りある財源を重点的、効率的に配分し、県民の負託に積極的に応えること。
- ② スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、収支ギャップを極力圧縮した予算を編成するとともに、これまで進めてきた財政健全化の足取りをより一層確かなものとする。
- ③ 将来世代に過度な負担を残さないため、県債については、適切な活用を図りつつも、県で発行額をコントロールできる県債の残高（臨時財政対策債を除いた県債残高）の圧縮を目指すこと。

平成 20 年度収支試算（一般財源ベース）

- 1 この試算は、平成 20 年度の歳入・歳出を一定の前提に基づき試算し、とりまとめたものである。
- 2 現時点で収支不足額は 848 億円程度となるが、今後の予算編成過程を通じて、歳入・歳出両面にわたり徹底した見直しを行い、収支不足額を圧縮していく。

（単位：億円、％）

	平成 20 年度 見込み	平成 19 年度 当初予算	差 引	伸び率
歳 入	12,266	12,243	23	0.2
県税等 ※1	9,590	9,432	158	1.7
地方交付税等 ※2	1,902	1,850	52	2.8
県債 ※3	463	548	△85	△15.5
その他歳入	311	413	△102	△24.7
歳 出	13,114	12,743	371	2.9
給与費	5,527	5,503	24	0.4
公債費	2,005	1,830	175	9.5
扶助費	457	441	16	3.7
県税交付金等	1,786	1,778	8	0.5
その他事業費	3,339	3,192	147	4.6
差し引き ※4	△ 848	△ 500	△348	

※1 県税、利子割精算金、地方消費税清算金、地方譲与税の合算額

※2 地方交付税及び地方特例交付金の合算額

※3 臨時財政対策債

※4 平成 19 年度における収支不足額は、財政調整のための基金の取り崩しと県債の追加発行により補てんした